

神戸市会議員

ただ ふみ

# うらがみ忠文新聞

2017年  
春夏の号

制服の  
異なるふたり  
風がおる忠文

## もっともっと おせっかいな市議会に。

古い神戸市に、  
「なんじゃっちゅねん」という言葉があり  
ます。標準語で「それがどうした」というよ  
うな意味です。  
神戸は今年、開港百五十年を迎えます。  
その間、戦災や震災で取り返しのつかないよ  
うな打撃を受けましたが、世界の「デザイン  
都市」に選ばれ、観光では「日本三大夜景」  
に指定されるなど、見た目は復興しました。  
「なんじゃっちゅねん」の賜でしょう。  
しかし、生活はどうでしょうか。  
みんなが希望を持って勇気を持って、自分  
らしく生きることが出来ているでしょうか。  
希望や勇気を支えるのは、家族、先生、友  
達、知人、同僚、近所の人たちでした。  
それらの関係が極めて薄くなった今、市役  
所、役所の「おせっかい」の果たす役割が  
重要になってきたのではないしょうか。  
行政のおせっかいを引き出すのが、議会  
議員の仕事です。とことん、やります！

### うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2015年 神戸市会議員6選
- ・無所属「創造都市、福祉充実を目指す」

毎日発信の  
ブログは、12年目  
に入りました。  
感謝です。



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に!

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文

検索

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会無所属 浦上忠文発行 TEL 078-322-5863

## 【議会報告】

春の本会議。私の代表質問の要旨。

### ■高齢者パワーの活性化について質疑する。

65歳以上としていた「高齢者」の定義を、75歳以上にしてはどうかと日本老年学会が見直しを提言した。内閣府の調査でも、「いくつになっても身体が動く限り働きたい」という方が30%を超えており、心身ともにパワーのある高齢者が増えていると実感している。

高齢化が急速に進む神戸市においても、社会を活性化する潜在能力集団として捉えなおし、個々人の活性化はもとより社会全体の活性化のために、実態調査の上、就労支援や起業支援などに積極的に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

### ★久元市長の答弁

「高齢者のパワーを社会の活性化に役立てる」という浦上議員の提案は、まったくその通りだと思う。60歳や65歳までの第一の人生を終え、それからの第二の人生がかなり長くなる時代になった。地域の課題の解決に、行政、NPO、無償のボランティアの皆さんが活動しているが、高齢者のビジネスとして出来ないか、今後の課題と認識している。

### ■私の再質疑。

老人力、老練力は社会に埋もれている大エネルギーである。「高齢者パワー推進局」を立ち上げてはどうか。高齢者パワー活用の先駆的な取り組みとして、全国に神戸の名が上がると思うが、どうか。

### ★久元市長の答弁

質問の趣旨は良く理解するが、横断的な行政課題が出てくるたびに新しい組織を作るのは、行財政改革を進める上でいかなるものか。そこが議員と意見の違うところだ。

関係する部局間で良く連携し、ご指摘のような政策を全体として強力に進めることが出来る体制を考えたい。高齢者の意識意向の調査は、もちろん行っていきたい。

市役所のおせっかいな  
行動を引き出せるよう、  
いっそう勉強します！  
浦上忠文

